

3年「社会福祉基礎」の授業

令和4年10月7日

生徒は1学期にハンセン病について勉強しました。
その学習内容について、本日は、大学院生のインタビューを受けるとともに、トークしました。



生徒の声

- 他の人の意見も聞けて学習になった。ハンセン病は、一見自分にはあまり関係ないと感じていたけれど、思ったよりも身近のことで驚いた。偏見や差別をなくすことは難しいと思うけれど、自分と違った人をどうやって受け止めて理解するかで偏見や差別を減らせると思う。
- ハンセン病について元々みんな何もわからなかった。もっと広めるべきだと思う。一度根付いた偏見をなくすためにも、もっと広まって欲しい。
- ハンセン病は知らない人が多いので、知ってくれる人が増えるといいなと思った。発表ではみんなの感想を聞き、自分とは違った意見があったり同じ意見があったり、発表しなければ知ることができないことなので、聞けて良かったです。ハンセン病に対してみんなで一緒に理解できて良かったです。色々な人に知ってほしいなと思います。

○他のグループは私たちのグループと全然違う内容をやっていて、ハンセン病のことがよく分かりました。私たちはハンセン病のことを知ったけれど、他の人達はハンセン病について知らないなので、私たちが教えていきたいと思います。

○ハンセン病の講師の方の説明を聞きながらみんなが書いた付箋を整理しました。整理しながら、確かこんなこと話してくれてたなと思い出したので、ハンセン病の知識がより深まったと思います。なかなか聞くことのできないことをまとめて発表ができたかなと思います。先生方だけでなく、講師の方にも聞いていただけて良かったです。貴重な機会をありがとうございました。

○ハンセン病に限りませんが、これからの私たちは、誹謗中傷や相手の気持ちを傷つける行為はしてはいけない、一人一人が理解することが大切だと思いました。この世界には未だに、差別や偏見などがたくさんあります。少しでも減るよう、日々の行動を改めたいと思います。

○ボードを整理する時、みんな沢山いろんなことを書いていました。みんなしっかり話をきいてメモをして、こんなことも教えてもらったなと思い出すことができました。以前にハンセン病のことについて学んだことを復習できたので良かったです。

**So good.
So cool,
Soya!**

